

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	ふれあい館・桜本こども文化センター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者名 社会福祉法人青丘社</li> <li>・代表者名 理事長 斐 重彦</li> <li>・住所 川崎市川崎区桜本1-9-6</li> </ul>	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	川崎区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 ふれあい館・桜本こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 65,419人 ②年間延べ利用団体数 873団体</p> <p>2 さくら小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 296人 ②年間延べ利用者数 23,752人</p> <p>3 大島小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 198人 ②年間延べ利用者数 14,918人</p> <p>4 東大島小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 166人 ②年間延べ利用者数 15,169人</p>
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>1 収入</p> <p>指定管理料 137,740,449</p> <p>2 支出</p> <p>人件費 116,376,472</p> <p>事業費 10,852,481</p> <p>事務経費 6,968,831</p> <p>その他経費 0</p> <p>合計 134,197,784</p> <p>3 差引 3,542,665</p>
サービス向上の取組	<p>地域との連携を大切にして「おおひん地区春の祭り」や地元商店街と連携した「日本の祭り」などの事務局として地域交流に貢献している。また、利用者からの生活全般の相談などに随時応じて、利用者へのサービス提供の向上に努めている。</p>

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進及び事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	5	10
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 中高生への支援を積極的に行い居場所づくりとして「クッキングボーイ」や各種行事への参加から日常の学習支援の場の提供まで、中高生の活動を充実させている。また地域の商店街の祭りやふれあい館まつり、ふれあいフェスタなどで大人や高齢者と子ども達が発表の機会を共有し、利用者交流の強化を図った。わくわくプラザでは地域の特性を活かしたクラブ活動として「チャンゴクラブ」や「一輪車クラブ」などの設け、地域住民や児童同士の交流も高めている。こどものいない平日の午前中には、識字教室のほか、地域の外国人住民が孤立しないように生活のサポート(行政手続きの援助等)も積極的に行っている。</p> <p>ふれあい館・桜本こども文化センター並びにわくわくプラザの平成26年度の利用者は119,258人となり、前年度より10,856人増加(対前年度比110.0%)となった。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
<p>(評価の理由) 金銭管理・会計手続き及び支出内容について、適切な経費執行であった。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	5	5
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 利用環境を重視して開館30分まえには、消毒や清掃を行っている。インターネットをはじめ報道提供なども積極的にを行いテレビニュースや新聞等に掲載されるなど広報活動にも力を入れている。保護者懇談会は各期ごとに開催した。子ども運営会議やアンケート等を通じて利用者の声をプログラムに活かしている。さくら小学校とは運動会での舞踊や、高齢者とのキムチ漬けなどの交流の行事を継続して行った。田島支援学校や桜本中学校とも文化祭等に協力するなど、子どもをめぐる地域と学校の連携強化に努めている。また、地域との連携では、4月の「おおひん地区春の祭り」(6町内会等主催)の事務局、11月の「日本の祭り」(商店街主催)の事務局としてかかわり、施設での事業の理解・協力さらには利用促進につながるよう関係を構築している。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	4	8
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) ふれあい館と子ども文化センターの事業の一体的な運営により、常時2名以上のスタッフを配置し、利用者の増加や緊急時に対応する体制が確保されている。また、利用者が増えたさくら小学校わくわくプラザにおいて、障害児童にはマンツーマンで応じて職員を増加して配置した。また、夜間の中学生学習サポートや居場所づくり等プログラム時には職員1名を加配した。個人情報の漏えい等はない。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	3	3
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 利用者の安全に配慮して、始業前点検、整理整頓、終業時点検を実施し安全確認を日々行っている。施設安全点検員を選任し、隔月1回、施設だけでなく、人的配置や声掛け、わくわくでは避難訓練を年1回行いこどもの誘導などをチェックし、スタッフ会議の中で報告・改善提案を行い反映させた。近隣からの騒音についての苦情に対応するため、利用者向けの注意を館内に掲示したり呼びかけを行った。同様に感染症情報を常に館に掲示し、注意喚起を行った。事故発生等にも適切に対応した。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 公の施設として館の設立理念に則って、市民参加型の館運営や児童厚生施設としての役割を果たすよう努めている。
- 昭和63年開所時から一貫して運営してきた団体としての実績が積み重なり、指定管理者となっても地域との信頼関係が構築されている。
- 中高生のプログラムも充実し、遊びから勉強、自主活動を含め居場所として施設を地域に定着させている。
- 共生のまちづくりという視点を持って、外国人住民、高齢者などが参画しやすい事業運営を行っている。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ふれあい館、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいては、平成27年度も館の理念を尊重するとともに、子どもの権利にも配慮した上で利用者並びに児童が安全で安心して過ごせる環境を整備し、サービス水準の向上と効率的な管理運営に努めること。
- 近隣からの騒音等に対する苦情や利用者から寄せられた意見・要望等については真摯に受け止め、改善に努めること。
- 新人スタッフの研修等をより充実させること。